

2020年9月23日

学生のみなさんへ

学校法人 東京国際大学
理事長・総長 倉田信靖

秋学期授業運営と学生への経済的支援について

【対面及び遠隔併用での秋学期授業開講について】

東京国際大学は、新型コロナウイルス感染症の蔓延という未曾有の危機に直面するなか、学生、教職員、そのご家族、さらには社会全体の健康、命を守ることを最優先するという立場から、春学期は全面オンラインによる遠隔授業にて開講いたしました。通常とは異なる形態の授業にご協力頂いた学生諸君、短時間で遠隔授業実施にご対応いただいた教職員各位に感謝いたします。

首都圏における新型コロナウイルスの感染状況は未だ収束には程遠い状況ではありますが、感染防止に係る知見も蓄積されてきている状況に鑑み、秋学期は感染防止策を十分に施したうえで、対面及び遠隔併用にて授業を開講することといたしました。図書館やイングリッシュ・プラザ等、各種キャンパス内施設についても、感染防止対策を実施しつつ学生諸君が利用できる環境を整えています。

【学生への経済的支援について】

新型コロナウイルス感染症拡大により、学費負担者である保護者の家計急変や、学生本人のアルバイト機会の減少等、学修を継続する前提としての経済的基盤が損なわれる事例も想定されます。そのような事態に直面した学生を救済するため、本学では、独自の経済的支援策として「新型コロナウイルス対応特別奨学金」を導入致しました。同奨学金は、従来の修学支援奨学金よりも応募条件を緩やかにし、対象者を拡大しています。秋学期の応募要領については、まもなく学内ポータルサイト（POTI）にて発表しますので、希望者は確認をしてください。

政府においても、学生支援機構の給付奨学金を家計急変に適用できるよう制度設計が見直されたほか、学生支援緊急給付金制度も導入されました。最新の支援策詳細については大学事務局（学生支援部：mailto:1cgakusei@tiu.ac.jp Tel 049-232-1114）にお問い合わせください。

【学費について】

春学期の遠隔授業実施に際してもお伝えしましたが、本学学費の変更は行いません。本学の学費は、学生諸君が学部生の場合は4年間で、大学院生の場合は2年間乃至5年間で、所定の課程を修了し、学士、修士、ないし博士の学位を取得するにふさわしい教育・研究態勢を整えるために必要な経費に関し、応分の負担を求めるものです。遠隔授業の実施等、今般の一連の施策を通じ、本学の教職員は「平時」と同様なしそれ以上の体制で臨んでいます。施設費に関しては、過去、現在、将来にわたる全ての在籍学生に、適正な学修・研究環境を整えていくために応分の負担を求めるものであり、利用の多寡で変動するものではありません。従来から休学者に関しても施設費納入は求めてきていることは、この考え方に基づきます。

【おわりに】

一日も早く、学生諸君が何の制約もなくキャンパスに集える日が来ることを切に希望しています。他方で、ワクチンや治療薬等、新型コロナウイルスの感染リスクを抜本的に低減させる方策が見つかるまでの間は、社会・経済活動はウイルスとの共生を前提とした制約条件付きのものとならざるをえません。大学における授業運営やキャンパス機能の提供も、当面のあいだ感染予防策と並行した対応となります。この間本学は、感染状況等に応じた対面授業と遠隔授業の構成の適宜見直しや、オンライン対応の高度化等、「新常態」に適合した教育・研究及び学生サービス体制の整備を進めてまいります。

以上